

103-272

問題文

前問と同じメカニズムによる相互作用の例として、適切なのはどれか。1つ選べ。

1. リファンピシンは、ワルファリンの肝取り込みトランスポーターを阻害する。
2. ミコナゾールは、CYP2C9を誘導してワルファリンの代謝速度を上昇させる。
3. メナテトレノン[®]は、ワルファリンによる血液凝固因子の生合成阻害作用と拮抗する。
4. アスピリンは、ワルファリンによる血小板凝集抑制作用と拮抗する。
5. コレスチラミンは、腸管内でワルファリンを吸着することで吸収を阻害する。

解答

問272 : 4問273 : 3

解説

問272

問273 とまとめて解説します。

問273

ワルファリンは、ビタミン K 依存性凝固因子に作用する 抗凝固薬です。ワルファリンが「増量」になっていることから、効果が抑制 されたと考えられます。ビタミン K が過剰に存在すると、ワルファリンの効果が抑制されます。

ビタミン K が過剰に含まれる食品で、ワルファリン服用中に注意すべき食品として、納豆、及び クロレラ があります。又、青汁などの緑黄色野菜のジュース も 注意が必要です。このメカニズムと同様の相互作用の例としては、ビタミンK製剤とワルファリンの相互作用があげられます。

以上より、問272 の正解は 4 です。

問273 の正解は 3 です。